

0歳児クラス 1月 第1回「なーんだなんだ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：絵本を画用紙等で隠し「なーんだなんだ」と言いながら登場。 講：少しずつずらして耳や目を見せ「だれだろうね？」全部見せて「こんにちは！」「パンダさんだね」等の会話を楽しんで、シアターに繋げる。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「なーんだ なんだ」のキーワードを繰り返すことで期待を持たせるように読む。 ②「なーんだ なんだ」と腕を組み、考える仕草を保育士もする。 ③「なーんだ なんだ♪」「パ・ン・ダ♪」リズムよく全員で身体を動かし、言葉遊びをする。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> ・絵本登場 ・会話をする 	

がくしゅうタイム

活動①		からだ	パンダに興味を持ち、耳シールを貼ることができる	
設問	パンダさんに耳をつけてあげましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「みなさんこんにちは」パンダカード登場（提示見本用に耳を付けておく） 			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「パンダさんこんにちは」 保：「なんだか最近寒いわね…わたし風邪ひいちゃったみたい。ハックション」でパンダカードを裏返し、講師に渡す。（裏には耳の付いていないパンダカードをつけておく） 講：「あれ？なんか変だね」変だな…と思う言葉を掛ける。「大変！耳がないよ」「耳がないとみんなの声が聞こえないね」等、理由も伝える。 講：「耳はいくつかな？」「皆の耳を数えてみよう」等で、耳の数を数える。 講：「1本指ピツ」で、人差し指を出して「いち・に・全部で2」保育士は子ども達の耳を優しく触って数える等、数を意識して行う。 保：「こんな所まで飛んで来たよ。どうぞ」耳シール提示。 講：「ありがとうございます。治してあげようね」耳シールを貼る見本を見せる。（指先でつまむ。ごみは皿に捨てる） 保：「私達もなんだか変なの…」子ども達のパンダカード提示。 パンダカードを渡し、耳がないことを確認して耳シールを貼る。（耳シールはきちんとした位置でなくても良い） 皆が貼れたら「できました！」等で頭の上で見せ合い、称賛する。 			パンダカード1人1枚 耳シール1人2枚 提示用パンダカード2枚 提示用耳シール4枚
				保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> ・パンダカード提示 ・パンダカード配布 ・目シール配布 ・言葉がけをする ・子ども達のフォロー ・称賛 	
活動②		生活	パンダを抱っこしたり、一緒に遊んだりして楽しむことが出来る	
設問	パンダを抱っこしてあげましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「さあ！皆で楽しく遊びましょう」 			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パンダカードを抱っこしてあやしたり、挨拶等の言葉をかける。 ・「スタート・ストップ」や、リズムに合わせてお散歩を楽しむ。（クラスの状況に応じて、保育士が子どもから離れられるようであればエレビを効果的に使用する） ・パンダカードで楽しく遊べたら称賛する。 ・「眠くなってきちゃった」等で、パンダカードを先生の手やカゴをベッドに見立てて集める。 			パンダカード
	<ul style="list-style-type: none"> ※自分でできることが増える時期です。パンダカードを集める時に自らカゴに入れるなど子ども達の自主的にできることを増やしていきましょう。 			保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> ・パンダカードで一緒に遊ぶ ・言葉がけをする ・称賛する ・カードを集める 	

